# TLS1.2 接続設定手順書

## I 処理概要

- 1. レジストリのバックアップ
- 2. レジストリの確認と登録
- 3. レジストリバックアップの削除

#### Ⅱ 処理詳細

1. レジストリのバックアップ

レジストリ変更後に、不具合が発生した場合に備え、レジストリのバックアップを取得します。

(1) スタートボタン横の検索窓に「レジストリ」と入力し、表示される検索結果から

[レジストリ エディター]を右クリックし、[管理者として実行]をクリックします。

ユーザーアカウント制御の画面が表示される場合は、[はい]ボタンで進みます。また、管理者権限 のあるユーザーIDやパスワードの入力を求められた場合は、入力します。

<b>すべて</b> アプリ ドキュメン	/ト	ウェブ その他 🔻				
最も一致する検索結果						
<b>Dジストリ</b> エディター						
アプリ	5	管理者として実行				
Web の検索	D	ファイルの場所を開く				
✓ レジストリ - Web 結果を見	-17	スタートにピン留めする				
DUTE DUTE DUTE DUTE DUTE DUTE DUTE DUTE	ᅻ	タスク バーにピン留めする				
₽ レジストリとは		>				

- (2) レジストリエディターの左ペインの[HKEY\_LOCAL\_MACHINE]の「>」マークをクリックし、 展開されるサブキーから[SOFTWARE]をクリックします。
- (3) [SOFTWARE]を右クリックし、[エクスポート]をクリックします。



(4) [エクスポート範囲]欄は、「選択された部分」にチェックが付き、「HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE」 が表示されていることを確認し、適当なファイル名(任意)を入力して[保存]ボタンをクリックします。 なお、保存する場所はデスクトップなど任意の場所で構いません。

また、ファイル名は、「バックアップした日\_bkup」など、確認しやすいファイル名としてください。 (例)20230808\_bkup

📑 レジストリ ファイル	のエクスポート				×
保存する場所( <u>l</u> ):	<b>ニ</b> デスクトップ		- G 🖻	• 📰 🏷	
クイック アクセス	名前				^
	<				>
	ファイル名( <u>N</u> ):	20230808_bkup		~	保存( <u>S</u> )
	ファイルの種類( <u>T</u> ):	登録ファイル (*.reg)		~	キャンセル
エクスポート範囲					
○すべて( <u>A</u> )					
◎ 選択された部分 HKEY_LOO	}( <u>E)</u> CAL_MACHINE¥SOFT\	WARE			

- (5) バックアップには少し時間がかかるため、マウスカーソルがぐるぐると回った状態になります。 しばらくお待ちになり、通常のマウスカーソル(矢印)に戻ればバックアップ終了です。
- (6) 保存指定した場所に、バックアップファイル(上記例の場合は「20230808\_bkup.reg」)が作成され ていることを確認してください。バックアップファイルは、ご利用環境により数百MBのファイルサ イズとなります。

🔜 > PC > デスクトップ			
名前	更新日時~	種類	サイズ
鹶 20230808_bkup.reg	2023/08/18 19:05	登録エントリ	445,889 KB

【ご注意】バックアップファイル(拡張子 reg ファイル)の取扱い バックアップファイル(reg ファイル)は、ダブルクリックなどで実行しないでください。 実行するとレジストリが書き換えられてしまいます。当手順書での処理完了後、バックアップフ ァイルを削除するまでの間は、ファイルを触らないようご注意ください。

### 2. レジストリの確認と登録

- (1) レジストリエディターでレジストリのキーに必要な値が2つ登録されていることを確認します。 レジストリエディターの赤枠の欄(以下の画像参照)に、それぞれのキーの値をコピーして貼り付
  - け、Enter キーを押下します。

📑 レジスト	リエディター	-			
ファイル(E)	編集( <u>E</u> )	表示( <u>V</u> )	お気に入り( <u>A</u> )	ヘルプ( <u>H</u> )	
HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥.NETFramework¥v2.0.50727					
	>	NGenQu	eue		

該当のキーに移動するので、対象の項目名の値が登録されていることを確認します。

 ①キー:HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥.NETFramework¥v2.0.50727 項目名(名前):SystemDefaultTlsVersions
 型(種類):REG\_DWORD 値(データ):1

📑 レジストリ エディター	-			
ファイル( <u>F</u> ) 編集( <u>E</u> )	表示(V) お気に2	い( <u>A)</u> ヘルプ( <u>H</u> )		
コンピューター¥HKEY_LC	CAL_MACHINE¥S	OFTWARE¥Microsoft¥.NETFramewor	k¥v2.0.50727	
× -	NGenQueue 🔺	名前	種類	データ
>	policy	ab (既定)	REG SZ	(値の設定なし)
>	Security	AspNetEnforceViewStateMac	REG DWORD	0x00000001 (1)
×	v2.0.50727	SystemDefaultTIsVersions	REG DWORD	0x0000001 (1)
	NGenServi		nee_errone	

②キー:HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥WOW6432Node¥Microsoft¥.NETFramework¥v2.0.50727 (※32ビットOSご利用の場合、当キーの確認は不要です。)

```
項目名(名前):SystemDefaultTlsVersions
型(種類):REG_DWORD
値(データ):1
```



(2) レジストリのキーが登録されていない場合、以下の手順で登録します。

```
    ①キー:HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥.NETFramework¥v2.0.50727
項目名(名前):SystemDefaultTlsVersions
    型(種類):REG_DWORD
    値(データ):1
```

1) 上記のキー「HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥.NETFramework¥v2.0.50727」を以下赤枠 に貼り付けて、Enter キーを押下します。「V2.0.50727」が選択された状態になります。

🔡 レジストリ エディター	_	
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ヘルプ(H) HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥.NETFramework¥v2.0.5072 ※ キーの文字列を貼り付けて、Enterキーを押下しまで	<u>키</u> す。	
<ul> <li>         ・         ・         ・</li></ul>	k¥v2.0.50727	
<ul> <li>v2.0.50727</li> <li>NGenService</li> <li>v3.0</li> <li>v4.0.30319</li> <li>▲ (既定)</li> <li>▲ AspNetEnforceViewStateMac</li> <li>※ 「v2.0.50727」に移動し、当キーが選択された(開か)</li> </ul>	<sup>種類</sup> REG_SZ REG_DWORD れた)状態にな	データ (値の設定なし) 0×00000001(1) よります。

2)「v2.0.50727」を右クリックし、[新規]>[DWORD(32 ビット)値]を選択します。

Image: 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10	IJI	ディター							
ファイル( <u>F)</u>	編 ¥HK	集( <u>E)</u> 表示( <u>V</u> )	お気に入り ACHINE¥SOE	( <u>A</u> ) ヘルプ(	<u>H</u> ) rosoft¥	NET	Framewor	k¥u2 0 50727	
	¥.	v2.0.50727	閉じる	TWANLEHMIC	1050114		Tanewor	種類	データ
	>	v3.0	新規( <u>N</u>	D	>		<b>≠</b> −( <u>K</u> )		
	Y	v4.0.30319	検索( <u>F</u>	)			文字列值	隹( <u>S</u> )	
	>	> SKUs Windows	削除( <u>D</u>	)			バイナリ値	直( <u>B</u> )	
>		AccountsCor	名前の	変更( <u>R</u> )			DWORD	(32 ビット) 値( <u>D</u> )	)
>		Active Setup	エクスポ	(−ト(E)			QWORD	) (64 ビット) 値( <u>Q</u>	)
>		ActiveSync	-7/47	····(三)			複数行文	て字列値( <u>M</u> )	
>		ADs	1962	(ar -u ( <u>r</u> )			展開可能	総文字列値(E)	
>		Advanced IN	キー名の	)コピー( <u>C</u> )		-	Arcting of the		
		ALG -							

3)上記の項目の「SystemDefaultTlsVersions」を貼り付けて名前を変更します。

📑 レジストリ エディター								
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ヘルプ(H)								
コンピューター¥HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥.NETFramewor	k¥v2.0.50727							
✓ v2.0.50727 ∧ 名前	種類	データ						
> NGenService (既定)	REG_SZ	(値の設定なし)						
> v3.0	REG_DWORD	0x0000001 (1)						
▼ v4.0.30319 殿 <mark>新しい値 #1</mark>	REG_DWORD	0x0000000 (0)						
※ 例として「SvstemDefaultTisVersions」を貼り付けて名前を変更しま。	đ.							
	90							
📑 レジストリ エディター								
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ヘルプ(H)								
コンピューター¥HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥.NETFramewor	k¥v2.0.50727							
✓ v2.0.50727 ^ 名前	種類	データ						
> NGenService (既定)	REG_SZ	(値の設定なし)						
> v3.0	REG_DWORD	0x0000001 (1)						
SystemDefaultTlsVersions	REG_DWORD	0x00000000 (0)						

4)「SystemDefaultTlsVersions」をダブルクリックして以下の画面を表示し、[値のデータ]欄を 「1」に変更し、[表記]欄が「16 進数」にチェックが付いていることを確認して、[OK]ボタ ンをクリックします。

DWORD (32 ビット) 値の編集		Х
値の名前( <u>N</u> ): SystemDefaultTlsVersions		
値のデータ( <u>V</u> ): 1	表記 ● 16 進数( <u>H)</u> ○ 10 進数( <u>D</u> )	
	OK キャンセル	

5)以下の通り、「v2.0.50727」の値名「SystemDefaultTlsVersions」のデータが「0x00000001(1)」 と表示されていることを確認してください。

📑 レジス	トリエデ	19-				
ファイル(E)	編集(	(E) 表示(V)	お気に入	り(A) ヘルプ(H)		
コンピューター	-¥HKEY	LOCAL_MAG	CHINE¥SC	OFTWARE¥Microsoft¥.NETFramewo	rk¥v2.0.50727	
	~	v2.0.50727	^	名前	種類	データ
	>	NGenSen	vice	ab)(既定)	REG SZ	(値の設定なし)
	>	v3.0		R AspNetEnforceViewStateMac	REG_DWORD	0x00000001 (1)
	¥ .	v4.0.30319		80 SystemDefaultTIsVersions	REG_DWORD	0x0000001 (1)

②キー:HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥WOW6432Node¥Microsoft¥.NETFramework¥v2.0.50727
 (※32 ビット OS ご利用の場合、当キーの登録は不要です。)
 項目名(名前):SystemDefaultTlsVersions

型(種類):REG\_DWORD

値(データ):1

上記の1)から5)の処理で、

キー「HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥WOW6432Node¥Microsoft¥.NETFramework¥v2.0.50727」の値を 登録します。

# 3. レジストリバックアップの削除

レジストリの登録完了後、システムを起動しエラーが解消されたことを確認します。 エラー解消後、「1.レジストリのバックアップ」で作成したバックアップファイル(拡張子が「.reg」 のファイル)を削除してください。

以上で、作業は終了です。